

委員の皆さまからの意見書（質問・意見）に対する回答

【平成30年度第3回会議に関する意見】

● ニーズ調査の集計について

委員：子どものケガ、病気で保・幼・小学校に行けなかった時の対応について、それぞれの対応を選ばざるを得なかった親の事情や背景についても考える必要がある。

【回答】親の様々な事情や背景に対応できるよう、病児・病後児保育やファミリー・サポート・センターの病児・緊急対応強化事業を継続して実施するとともに、保護者への周知・情報提供を行うことで、利用を促進していきます。

委員：安心して遊ぶ場所が少ないように思う。

【回答】遊び場の整備については、昨年実施したニーズ調査においても、保護者の要望の高い事業としてあがっていました。次期計画については、遊び場の整備も含めた保護者のニーズを十分踏まえて、策定を進めたいと考えます。

【平31（令和元）年度第1回会議に関する意見】

● 第一期子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について

委員：ハチピーアプリは便利だが、自分からサービスにアクセスできる人しか利用できない。どのようなサービスを使うか分からない人のためにも利用者支援事業が重要となる。

【回答】現在、子育て世代包括支援センターに利用者支援員を配置し、市内の子育て情報を利用者に提供しています。また、今年度新たに、駅前商業施設（アクア21）内に利用者支援事業の拠点の開設を予定しており、利用者支援事業の充実を目指しています。今後もより便利な情報収集の仕組み作りを踏まえつつ、利用者支援事業とアプリの運営をしていきます。

委員：ハチピーアプリの地図からの検索について、より使いやすく、見やすくなっ
てほしい。

【回答】ハチピーアプリについては、今後も利用者の声を聞きながら、より使いやすいアプリへブラッシュアップを図っていきます。

● 認定こども園、放課後児童クラブ施設等の整備について

委員：放課後児童クラブについて、量の確保だけでなく、質の確保の向上も必要である。

【回答】県主催の資質向上研修（6時間×4日間）、市主催の資質向上研修（年4回）を実施し、様々な分野について支援員の質の向上を目指すとともに、処遇改善に関する補助メニューを実施することで、研修受講を勧奨しています。これからも、資質向上に関する情報提供等も実施し、量と質、両面での充実を図ってまいります。

委員：遊具やおもちゃの少ないこども園もあると聞いた。遊具等の充実が必要ではないか。

【回答】遊具やおもちゃが少ない施設については、計画訪問や巡回訪問時に整備状況を確認し、環境充実のための具体策を提案するなどの指導をしています。市内施設においても、園庭の固定遊具や絵本、楽器他が整わない状況があったため実情を聞きに行き、改善を申し入れました。絵本やおもちゃなどの改善はみられましたが、園庭の環境については引き続き充実するよう指導していきます。

● 小学生アンケートについて

委員：統計的な分析だけでなく、個別の問題に対する対応も必要ではないか。

【回答】無記名のアンケート形式での調査ですので、本アンケートをもって個別の問題に対応することは難しいと考えますが、アンケートの調査結果については、学校含む、市関係課で共有し、子育て支援に活かしてまいります。

● その他

委員：ひかりの子事業について、通所を希望されているが、基準に合わずに民間の療育に通っている方がいると聞く。必要とされる方に必要な支援ができるようになってほしい。また、自費で通う方への支援の幅が広がってほしい。

【回答】ひかりの子の利用については、児童発達支援として福祉サービスが必要な方に、すみやかに支援が提供できるよう、今年度より毎月入所とし、現在待機なしで利用いただいています。当センターも、より専門的な支援に向け専門職の雇用に努めていますが、当センターや民間の児童発達支援事業所においてはそ

れぞれ支援内容に特徴があり、保護者は子どもの発達やニーズに合わせ、児童発達支援事業所を選択することができます。なお、当センターの利用に対しては自費は発生しませんが、民間の事業所を利用される際は、それぞれに定められた費用をお支払いいただくこともあると思いますのでご理解ください。